


学校だよりのタイトル「みついし」を引き継ぎました。羽田海岸にある「三石」に由来しています。富来小の様子を保護者・地域の皆様にお伝えしていきたいと思っています。ご意見・ご感想等、よろしくお願いいたします。

学校だより



みついし

国東市立富来小学校
令和6年11月6日(水)
第8号
文責 校長：溝部剛

みんなでがんばった香々地教育合宿

10月17日(木)と18日(金)の2日間、5年生が香々地青少年の家で教育合宿を行いました。偶然にも国東小の5年生と同じ日程となり、交流会も持ちました。

1日目は、2校合同での入所式とオリエンテーションがあり、香々地でのめあてや注意事項、布団の敷き方・しまい方などを学びました。その後は、せっかく2校の同級生が一緒になったということで、レクリエーションで「ペタンク」をして交流しました。同じグループになった友だちとは知り合いになれた

のではないのでしょうか。午後は、活動班に分かれて所内オリエンティングをし、地図を頼りにポイントを探し、みんなで励ましの声をかけ合いながらゴールをめざ



協力してポイントを探す5年生

しました。その後は、プラネタリウムを観て、宇宙や星空、自然の美しさを体感しました。さらに、夜はキャンドルのつどいがあり、友情を誓い合い、レク係のリードでレクをして大いに盛り上がりま

した。最後は、班長会議と班会議で1日を振り返り、次の日に備えて就寝しました。

2日目は、朝のつどい・清掃・朝食の後、荷物の移動や退所点検があり、午前の活動としてネイチャークラフト作りを行いました。羽田海岸で集めていた貝がらやシーグラスなどを使って、自分なりの作品を完成させることができていました。最後の退所式では、再び国東小と合同で、2日間の感想を代表者が話し、香々地の先生からの言葉をいただきました。

初めての1泊2日の教育合宿は、学校では経験できないものばかりでした。活動を通して、一人ひとりが友だちの良さや自分の良さを発見できたように思います。一人が困っていれば、誰かが気づき声をかけ、みんなで助け合う、そんな姿をたくさん見ることができました。香々地で多くのことを学んだ5年生。来年はいよいよ最高学年です。今後もみんなで「協働・協同」しながら成長していったほしいと思っています。



夕べの集いの後の集合写真

前期児童会から後期へ引き継ぎ

運動会が終わり、前期児童会の振り返りが行われ、後期児童会の計画が立てられました。4・5・6年生は、新しい委員会の所属が決まり、張り切って活動を始めています。10月29日(火)の児童集会では、前期児童会役員と後期児童会役員からあいさつがありました。前期のみなさん、富来小をリードしてくれてありがとう。後期のみなさん、よりよい富来小にするためにがんばって下さい。

【前期児童会長あいさつ】

前期児童会長だった6年河野友音(ともね)です。私はこれまで児童会長をやって、みんなをまとめることの大変さを学びました。全校をまとめられるか不安もたくさんあったけど、安心して終わることができました。これからも富来っ子の思いやりをたくさん見つけてください。今までありがとうございました。

【後期児童会長あいさつ】

後期児童会長になった6年徳丸心優香(みゆか)です。私はみんなが思いやりの気持ちを持って助け合っていけるような学校にしたいと思い、児童会に入りました。児童会長としてより良い学校にしていけるようにがんばります。これからよろしくお願いいたします。



後期児童会役員メンバー

社会見学でたくさんさんのことを学ぶ

1学期から2学期にかけて、生活科探検や修学旅行、そして、2学期を中心とした社会見学と、生活科や社会科授業の内容と関連づけながら実施してきました。

6月7日(金)には、2年生が「岩戸寺」と「八坂社」、「富来漁港」へ町たんけんに行きました。6月14日(金)15日(土)には、6年生が修学旅行へ行きました。7月5日(金)には、3年生が「九設ふる里めぐみファーム」と「マルシヨク国東店」へ社会見学に行きました。



オリーブを収穫する3年生

10月17日(木)には、3年生が「九設ふる里めぐみファーム」と「国東市消防本部」へ社会見学に行きました。10月21日(月)には、4年生が「武蔵町東部浄化センター」と「九設ふる里めぐみファーム」へ社会見学に行きました。10月22日(火)には、5年生が「宇佐市平和資料館」と「宇佐市城井1号掩体壕」、「八面山平和公園」、「ダイハツ九州株式会社」へ社会見学に行きました。

それぞれの見学には、それぞれの教科の目標に沿ったねらいがあります。1つは、現地を実際に

見学・観察することで、社会科で学んだことを確実な学びに変えることができるということです。まさに「百聞は一見に如かず」であり、教科書で学んだことが見て触って実感を伴うと、子どもの理解と関心は一層高まります。本物に触れ、そこで働いている人から話を聞くことは何よりも説得力があります。2つ目は、地域の施設を見学することは、利用の仕方やマナーを学ぶ機会にもな



オリーブについての説明を聞く4年生

富来小あれこれ

『読書のすすめ』

毎日小学生新聞に「衝撃の読書離れ」の見出しで記事が載っていました。6割の人が、1か月に1冊も本を読まないそうです。読書量が減った人の理由としては、「スマートフォンやタブレットなどに時間が取られる」「仕事・勉強で多忙」などがありました。

では、富来っ子の読書の様子はどうなのかというと、朝読書や「読み聞かせ」、毎月変わる「学級文庫」、「どーなっつステーション」、「おすすめの本」コーナー、季節に応じた「読書週間企画」などの取り組みの成果で、前年度の同時期よりも読書量が増加しています。

ですが、学校での読書の時間は限られていて、途中で中断してしまうことが多いのです。読書

ります。同じような施設を利用しようとする意欲や態度を養うことにもつながります。3つ目は、子どもたちを地域の方に知っていただく貴重な機会になり、地域と一体になって子どもを育てようとする機運を高めることにもつながります。そんなたくさんさんのねらいがある社会見学を、教室の中だけでは学べない貴重な学びとして実施することができました。快く引き受けてくださった関係の皆様には心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

【4年生のオリーブ園での社会見学の様子が11/2(土)~11/8(金)の間、ケーブルテレビで放映されます。再放送は11/9(土)~11/15(金)です。】



宇佐市平和資料館でメモを取る5年生

を継続させ、読書習慣を確立するには家庭の協力が必要です。

もし、子どもたちが家に帰った時、テレビがずっとついていたり、どうしてもそちらに集中してしまい、読書しようという気が起こりません。各家庭で、読書に集中できる時間を設けてみてはどうでしょうか。テレビを消し、パソコンやスマホを触らず、家族みんなで読書を楽しむことができるといいですね。秋の夜長、ご家庭でも子どもと読書を楽しんでみてはいかがでしょうか。



図書室の「おすすめの本コーナー」